

令和5年度 第10回常任理事会 議事録

日 時 令和6年3月9日(土) 10時～
場 所 北海きたえーる小研修室
出席者 印藤智一、丸山道博、齊藤幸治、石崎 賢、
川崎尚子、笹森恭之、太刀川建一、多田吉宏、
佐見洋治、辻井淳一、藤原 正、坂本雅春
(議事録)

<進行：辻井常任理事>

1 開 会

※議事録署名人(印藤理事長、丸山副理事長、辻井常任理事)

2 理事長あいさつ

本日は、午後から理事会もあり、次年度に向けた事業や予算等について審議いただくこととなる、活発な議論をお願いします。

3 協議事項

各担当から、以下の内容について説明があり、理事会提案が承認された。

(1) 令和5年度 第4回理事会の開催について

①令和6年度 協会運営の基本方針(案)について(印藤理事長)

協会100周年に向け、法人化を機に、より一層のガバナンスの強化や暴力・暴言などのハラスメント対応を重点目標に据えて取組みを進めていく。

②令和6年度 事業計画(案)について

・評議員会、理事会及び常任理事会等を例年どおり計画し、体罰・暴力・暴言の根絶の取組みでは、JVAの暴力撤廃アクションに基づき、啓発活動を継続するとともに、法人化に向けた定款及び規程の整備を進める。(齊藤総務委員長)

・8月に旭川市で高等専門学校の全国大会が開催される。Vリーグホームゲーム対応もあり、競技委員会の体制強化のほか、開催地輪番制の再検討を行う。(石崎競技委員長)

・審判員の人材発掘は、参加者が減少傾向にあり停滞気味と感じている。カテゴリレフェリー更新時期なので意志確認しながら進めるほか、ホームページの利活用についても検討する。(川崎審判委員長)

・中学生強化合宿については、3月開催が厳しく9月～1月開催に変更する。

強化育成基金を活用して実施する国民スポーツ大会少年強化対策事業については、本州の高校を招聘し、効果的なチーム強化に繋げたい。(太刀川強化委員長)

・次年度の伝達講習会は、4月13日(土)に開催予定しているほか、道公認コーチ、日本スポーツ協会公認コーチ取得講習会について開催を予定している。(笹森指導普及委員長)

③令和6年度 一般会計・特別会計予算（案）について（齊藤総務委員長）

一般会計予算の収入の部では、受領方法の見直しに伴う交付金の減やVリーグホームゲーム数の増加に伴う委託料の増等により、前年度予算額から60万円増の2,110万円を見込む。

一方、支出の部では、隔年実施の中学生強化交歓会事業費の減やVリーグホームゲームの開催増加に伴う開催交付金の増、法人設立に向けた会議増に伴う旅費及び会議費の増を見込んだほか、全国インターハイへの2か年支援の終了に伴う減、法人設立に係る定款登記に向けた行政書士等への委託料の増、Vリーグ受託収入の増加に伴う法人税等の増、法人設立準備費等を予備費に見込み、収支同額を見込む。

特別会計予算の財政調整基金では、収入に前年度繰越見込額と利息を計上し、支出は予定なし。

強化・育成基金は、収入に前年度繰越見込額と利息を計上し、支出は、国民スポーツ大会少年強化対策事業として160万円を計上する。

④令和6年度 定時評議員会の開催日程等について（齊藤総務委員長）

定時評議員会の日時を5月11日（土）の15時から、きたえーる研修室で開催し、令和5年度の事業報告及び各会計決算認定ほかについて審議する。

⑤能登半島地震被災県協会への義援金について

能登半島地震で被災した石川県の復旧・復興と一日も早いバレーボール活動の再開を願い、各地区協会及び加盟団体と協力して義援金を贈呈する。

各地区協会と加盟団体から集まった義援金に、道協会分を追加して、石川県協会に義援金を送付する案内を理事会に提案する。

⑥一般社団法人北海道バレーボール協会定款（案）について（齊藤総務委員長）

第3回理事会では、新法人の組織体制について承認を得たところであり、令和7年度の法人設立に向け、行政書士との調整を重ね、定款（案）について、提案し、ご意見を伺うもの。

第6条では、会員種別を規定し、道内に組織されたバレーボール競技連盟及び各地区を代表するバレーボール協会の代表者を「正会員」として位置づけること。

第13条では、社員総会の構成を規定しており、第6条において規定する正会員をもって構成すること。

第24条では、役員設置について規定しており、新法人の代表理事を理事長とするほか、副理事長、本部長、委員長、理事を配置することなどについて規定しており、この定款において、なお不足する部分については、別途規程を整備して、定款を補完する。

⑦令和6年度 全道大会開催日程について（石崎競技委員長）

天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会北海道ラウンドを7月13日（土）～14日（日）を14日（日）から15日（月）に変更する。

⑧令和6年度 会議スケジュールについて

4 報告事項

（1）日本協会関係（印藤理事長）

- ・ JVAが1月末に法人格取得に向けた説明会を開催し、都道府県協会の法人化設立にかかる費用や維持コストを支援するとの報告がなされた。
- ・ 新SVリーグへの移行により、ホームゲーム22試合の8割をホームタウンで開催するなどの条件により、ゲーム数の増加が見込まれ、スタッフ等の人員確保が必要となる。
- ・ JVAと龍神・火の鳥のロゴを統一して、新ロゴを4月に発表する。

(2) 各委員会関係

①審判委員会（川崎審判委員長）

2月12日に尾上セナ（札幌）、阿部義之（釧路）がA級審判員に認定された。

審判員のワッペン、ウェアが新しくなる。半袖のみ、ウインドブレーカー有り、令和6年度後半から販売予定。

②指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

全国指導普及委員長会議に参加した。会議の大半が指導者養成についての内容であり、指導者資格を将来的に国家資格にしていくことや令和7年度までにブロック大会、令和8年度までに全国大会で義務付ける方針が説明された。

③中体連盟（佐見常任理事）

令和6年度全道中学大会は中標津町、令和7年度は深川市に決定した。

④旭川協会（川崎常任理事）

8月24日～9月1日頃にヴォレアスカップ開催予定。

旭川市のふるさと納税を財源として、道外高校チームを招待し、国体少年強化事業と兼ねて実施予定。

(3) その他

5 閉 会

【次回：令和6年4月13日（土）10時～ きたえーる研修室】

議事録署名人

理 事 長

伊藤 智一

議事録署名人

丸山 道博

議事録署名人

辻井 淳一